

令和7(2025)年度 第3回柏崎市環境審議会 議事概要

市民生活部環境課環境政策係

このことについて以下のとおり報告します。

- 日時 令和8(2026)年3月27日(金) 10:00~正午
- 会場 柏崎市役所 4階 4-3・4-4会議室
- 出席者
委員 伊藤会長、田村委員、佐藤委員、徳永委員、蒼原委員、村山委員、宮田委員、若月委員、春川委員、今井委員(欠席委員:松澤委員、阿部委員、竹井委員、迎田委員)
事務局 (環境課) 村田課長、今井課長代理、山田課長代理、江部係長、小川主任、久保田非常勤、前川非常勤
- 議事概要

	<p>1 開会</p> <p>2 審議会会長あいさつ</p> <p>3 報告事項 (1) 柏崎市地球温暖化対策実行計画(以下、「実行計画」という。)について事務局が【資料1】に沿って説明した。</p>
委員	<p>・実行計画区域施策編の温室効果ガス排出量推計に自然減(人口減など)という項目がある。市で行っているUIターンの取組や企業が行っている外国人労働者雇用による人口増を見込んだ数字になっているのか。</p>
事務局	<p>・人口増に向けた取組が行われているものの、柏崎市第六次総合計画においても人口が減少していくという推計になっており、それらを加味した上での自然減(人口減など)の項目になっている。</p>
委員	<p>・地球温暖化対策の前提となる、省エネや3Rについても記載してはどうか。</p>
事務局	<p>・実行計画において、温室効果ガスの排出量削減対策に省エネを行うことを記載している。</p> <p>・温室効果ガスの排出量削減のために省エネや3Rの行動をしていくことは前提としてあるが、目標値などを数字として表すという点でこのような記載になった。</p>
委員	<p>・市民には概要版を全戸配布するのか。</p>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・全戸配布はせず、市ホームページに掲載する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページから閲覧することは、高齢者にとって難しいのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の電力の再エネ化や市の共有自動車を電動自動車に入れ替えていくことなどを記載した事務事業編や、企業が取り組む省エネについて記載している。 ・この冊子のみで市民1人1人の行動変容につながるものではないので、全戸配布ではなく、ふれあい講座等が出向いて話をする方向に力を入れていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館には高齢者を含め多くの人を訪れており、チラシを手取る人も多い。柏崎市ゼロカーボンシティ推進戦略の「脱炭素アクション」のようなチラシを公共施設、特に図書館に設置すると一般市民にも関心を持ってもらえるのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見として受け止める。一方で、市役所全体として紙資源の使用を減らしていこうという取組を推進している。紙の使用を減らした形で情報を伝えられるよう検討したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・吸収源対策はほぼ変化がないと記載されている。カーボンニュートラルを目指して創エネのために太陽光パネルの設置を進める一方で、そのために山地を切り開いてメガソーラーを設置する例もある。民間企業が山地を切り開いてメガソーラーを設置する場合に、市が許可を与えないなどコントロールする考えはあるか。 ・また、藻場の育成についても考えているようだが、磯焼けで藻場ができず、ブルーカーボンができない状態になっている。海水温度の上昇はコントロールできるものではないと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・他自治体で、メガソーラーに対して条例で規制をかけていることは承知している。メガソーラーに限らず大規模な開発の際は市に事前の届け出が必要であり、関係課によるチェックや内容によっては意見を付することで対応したい。 ・太陽光発電による創エネについては、柏崎あい・あーるエナジーによる電源開発や、太陽光パネルを設置する家庭向けの取組を促進していきたい。 ・ブルーカーボンについては、日本海であることから荒波等で難しいことも考えられるが、海岸線があることは脱炭素に貢献するためのメリットであるため、中長期的な視点で、来年度以降先進地の事例も参考にしながら検討を始めていきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・実行計画の51ページ③に、ブルーカーボンの可能性について検討していくことを記載している。 ・他自治体では、ため池に太陽光パネルを設置する事例もある。できるだけ森林を伐採して設置する以外の方法を研究していきたい。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・植林をしていくには30年から40年の長いスパンがかかる。耕作放棄地を吸収源としてカウントすることはできないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・吸収源としてカウントしているのは、管理されている森林である。 <p>(2) 柏崎市一般廃棄物処理基本計画について 事務局が【資料2】に沿って説明した。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・製品プラスチックの資源化と記載されている。現在はタッパーなどのプラスチック製品は回収されていないが、今後家庭ではどのように対応すればよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在はプラスチック製容器包装のみを回収しているが、今後はそれ以外のプラスチックも回収していこうというものである。すぐに全てのプラスチックを回収することは困難であるため、段階的に進めていきたい。集めたプラスチックを資源化することが大切であり、まずは有効に資源化できる衣装ケースから始めていき、順次拡充していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・バケツや風呂桶のようなかさばるものを燃えるゴミの袋に入れることも気になっていた。段階的に実施することについて理解した。年度替わりの時期で衣装ケース回収の需要は大きいと思うので、ぜひ進めてもらいたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスについて、特に若い人で賞味期限や消費期限を気にして棚の奥にある期限の長いものを購入する人がいる。消費者協会としては、環境のために「てまえどり」として手前に陳列されている期限の短いものから消費することを啓発している。広報かしわざきで、賞味期限と消費期限の違いや、期限はあくまで目安であり多少期限を過ぎたものを食したからといって即座に健康被害を生じるものではないことを周知してもらいたい。日本人は衛生志向が他国と比べてよく言えば進んでいる、悪く言うともったいない生活をしているように感じる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・個人としては多少期限を過ぎたものを食しても問題ないと考えているが、市が、期限を過ぎても問題ないと発信することは難しい。 ・期限の表示については消費者庁の管轄業務である。発信するとすれば他の部署が対応することになると思われる。管轄に確認し、対応を検討したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・佐渡市ではてまえどりのチラシをスーパーに配布して周知しているようである。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・てまえどりについては周知を行っていきたい。

委員	<p>・インターネットで賞味期限や消費期限に関して検索すると、様々な情報が出てくる。消費者庁等が表示のための基準を出していると思われるので、それを把握した上で周知していくことが大切である。</p>
委員	<p>・月に3回プラスチック製容器包装の回収があるが、毎回多くのプラスチック製容器包装が収集所に出されている。プラスチックは薄くて軽く扱いやすいため多く利用されている。回収があることにより、その時に捨てればよいと考える人もいないか。プラスチックの資源化や紙の節減に取り組んでいるとの話があったが、市民全体の取組が必要であるため、広報活動を今まで以上に行ってもらいたい。</p>
事務局	<p>・柏崎市は県内でも分別の分けが多い自治体である。広報かしわざきやホームページなどを通じて周知を継続していきたい。</p>
委員	<p>・広報かしわざきを活用できれば、多くの家庭の目に留まるのではないか。 ・長岡市では環境に特化した情報誌を発行して市民に周知を行っている。そこまで大規模でなくてもよいが、市民への広報活動をしっかりと行ってもらいたい。</p>
事務局	<p>・各家庭に1冊ずつ配布している資源物・ごみの分別ガイドブックを令和8（2026）年度に改訂し、12月の広報かしわざきと併せて各家庭に配布する計画である。その際に、ゴミの減量などに関するメッセージを入れられるか検討する。 ・現在のガイドブックは令和2（2020）年に作成されたものである。ハンディファンなど当時は使用されていなかった製品もあるため、現在の生活に沿った内容に修正する。</p>
委員	<p>・資源物・ごみの分別ガイドブックは市民向けのものであるが、事業者向けのガイドブックはあるのか。</p>
事務局	<p>・事業者向けのガイドブックはない。事業者で出る一般廃棄物は紙か生ごみが多く、それ以外は産業廃棄物になる。産業廃棄物については市で紹介する内容ではないため、作成していない。</p>
委員	<p>・事業者から出る単三電池やボタン電池は、どのように処理したらよいか。</p>
事務局	<p>・産業廃棄物がどのように処理されているかは承知していない。市では処理ができないので、産業廃棄物処理の許可を得ている業者に依頼していただきたい。</p> <p>（3）ECO2プロジェクト対象行動への「食品ロス削減」取組項目の追加について事務局が【資料3】に沿って説明した。</p>

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・個人用シートがあるが、これは一般市民用ではなく参加した事業者の従業員や家族が利用するシートであるという認識か。それ以外の個人は参加できない取組なのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8（2026）年度は、E C O 2プロジェクトに参加している事業者・個人事業主及びその家族を対象として始めたい。しかしながら、個人が任意で取り組むことを妨げるものではない。 ・E C O 2プロジェクトは、指定した取組に参加することで補助金がもらえる制度であり、事業者を活用してもらいたいものである。まずは事業者を対象として実施し、その後波及させることを検討していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス事業者からよりも家庭からの排出が多いため、事業者向けのみで実施するのはおかしいのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・実行計画と食品ロスを結び付けている。環境課が令和8（2026）年度に取り組もうとしているのは地球温暖化とごみの削減であり、E C O 2プロジェクトの一環としてこの取組を実施したい。 ・食品ロスへの対策は、環境課だけではなく様々な主体がそれぞれの分野で取り組むものである。個人が取り組めた方がよいという意見は理解できるが、環境課としては、まずはE C O 2プロジェクトの一環として事業者を対象に実施し、その後対象を他の主体に広げられるか検討したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントの付与は不要だが、個人などで参加するのは可能か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・E C O 2ポイントはE C O 2プロジェクト参加者以外に付与することはできないが、個人で取組シートを活用して食品ロス削減に取り組むことは可能である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンに参加したいが、種を提供してもらうことは可能か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の緑のカーテンプロジェクト参加者から種を集めており、提供することは可能である。必要な際に問い合わせいただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者向けの取組だけでなく、今後は個人や一般家庭向けの取組も支援してもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の取組も重要だと感じている。しかしながら、事業者単位で実施することは、組織での活動になるため、参加者が動きやすくなる。 ・まずは、事業者という組織の協力を得て市民に活動してもらい、その後裾野を広げていきたいと考えている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・市民向けには実施しないということではなく、事業者向けから始めていきたいということである。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスについての市民向けの周知啓発については、継続して行っていく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントは、補助金として現金化されるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者の取組状況は、自己申告のみで写真などの提出は求めないのか。 ・仮に実施していなかったとしても、実施したとして書類を提出すればポイントが付与されるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでノーマイカーウィークの実績は紙ベースで確認を行っており、写真などの提出は求めている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントが付く期間のみに取り組むということも考えられるのではないかと。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業の目的は、今まで食べ残しや期限間近などで食品ロスが生じていたものを減らすための行動変容の動機付けである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の期間だけでなく、継続することによるインセンティブがあるとさらによいのではないかと。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・それが望まれる姿であり、参考にさせていただく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・E C O 2プロジェクトの対象行動を周知する際に、ポイントが付与されることに加えて、ポイントの利用方法や取り組んだことによる効果も併せて周知したほうがよいのではないかと。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのような周知を検討する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・外食時に食べきれなかった料理の持ち帰りについて、会の始めに司会が3010運動について周知してから始まったことがあった。こうした声掛けがあるだけで食品ロスが減ると感じた。柏崎市でもぜひ3010運動について周知してもらいたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ振興協議会の集まりでは、3010運動について最初に周知している。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・3010運動は、10年以上前に長野県松本市で始まった取組である。 ・柏崎市では3010運動はあまり活発ではないと思われる。職員にも取り組んでもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページで周知しており、市職員にも宴会が多いシーズンに呼びかけを行っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡市では、酒蔵が市内に多いことから最初の乾杯は日本酒でという条例を作っている。同じように3010運動の条例を作るのも考え方としてあると思う。
<h4>4 その他</h4>	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・柏崎市の環境30ページ(3)イの再生可能エネルギーのうち太陽光発電について、令和5(2023)年度に比べ令和6(2024)年度の実績が減少している理由は何か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・確認し、後日回答する。 <p>※後日回答</p> <p>この実績値は市役所に設置している太陽光発電設備の発電量を示すもの。令和5(2023)年度と令和6(2024)年度を比較すると、発電設備自体に増減はなく、主に天候の影響により、令和6(2024)年度の実績が減少した。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみ、燃やさないごみが令和5(2023)年度に比べて令和6(2024)年度は増加しているが、理由は何か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・不用品回収処分が多くあったためである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・31ページの環境に対する職員の意識について、他の項目に比べ「クリーンデーなど、地域の環境美化活動に積極的に参加している」「庁内の環境活動(ノーマイカーウイーク、緑のカーテンなど)に参加したり、家庭においても省エネ行動を意識したりしている」を実施している割合が低くなっているが、どう考えるか。実施している割合を上げられるよう努力してもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりも数値が悪くなっており、意識づけを強化したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7(2025)年に環境課にふれあい講座を依頼した。資料が多く、理解が難しかったという意見があった。出前講座を実施する際は、内容を網羅するのではなく、概要版のように大まかな部分を説明してもらいたい。

事務局	<p>・令和8（2026）年3月25日にリケンNPR株式会社が水素ステーションをオープンし、3月29日に市が後援するオープニングイベントが実施される。水素アシスト自転車や水素エンジントラックの展示、キッチンカーなどが催されるため、ぜひ参加してもらいたい。</p> <p>5 環境課長あいさつ</p> <p>6 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
-----	--